年間授業計画

高等学校 令和６年度（3学年用） 教科　　国語　　科目 表現演習（必選）

教　科： 国語　　科　目： 表現演習（必選）　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 国語表現　　大修館書店　　）

教科　国語　　の目標： 言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果に表現する能力を育成する。

【 知 識 及 び 技 能 】自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

【思考力、判断力、表現力等】自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考える。

【学びに向かう力、人間性等】社会的な話題や自己の将来などを題材に、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで表現すること。

科目　表現演習（必選）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
必要な語句の量を増やす。語彙を豊かにする。	伝え合う力を伸ばし、言語感覚を磨く。「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にする。	進んで表現することによって、国語の向上や社会生活の充実をはかる態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	【第1部】表現力を培う。１言葉と出会う。レッスン１ 【知識及び技能】表記の決まりを意識し、正しく書く。 【思考力、判断力、表現力等】漢字や寛容表現を正しく使う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】●言葉には、自己と他者の須吾理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【思考・判断・表現】●「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現の工夫している。【主体的に学習に取り組む姿勢】●正しい表記や語彙を豊かにする	○	○	○	5
	B 単元　表現力を培う。１言葉と出会う。レッスン２　整った文を書く。 【知識及び技能】表記の決まりを意識し、正しく書く。 【思考力、判断力、表現力等】漢字や寛容表現を正しく使うことについ	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】●書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一することについて理解している。【思考・判断・表現】●書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることを理解している。【主体的に学習に取り組む姿勢】●練習問題を解くことを通して、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうと	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	C 単元　表現力を培う。１言葉と出会う。レッスン３　相手に応じた言葉遣い。 【知識及び技能】敬語について正しい理解を持ち、その使い分けについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】話し	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】●話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、㊷適切に使い分けている。語彙の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【思考・判断・表現】●「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。【主体的に学習に取り組む	○	○	○	10
	C 単元　表現力を培う。１言葉と出会う。レッスン４　相手に応じた言葉遣い。 【知識及び技能】長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】読点	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】●書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。思考・判断・表現】●「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点適切に用いるなど、工夫している。自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかを吟味し、表現全体を整え獲たり、読	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2学期	【第1部】表現力を培う。３　小論文・レポート入門　レッスン１ 【知識及び技能】小論文の基本的な書き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】意見を筋道を立てて書く。原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識・技能】●小論文の特徴。構成や展開の仕方などについて理解を深めている。【思考・判断・表現】●「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開に工夫している。【主体的に学習に取り組む姿勢】●小論文と感想の違いをふまえ、小論文を書くことに関心を持ち、意欲的に取り組も	○	○	○	16
	【第1部】表現力を培う。３　小論文・レポート入門　レッスン２　反論を想定して書く 【知識及び技能】反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】意見を筋道を立てて書く。原稿用紙の使	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【思考・判断・表現】●「書くこと」において、目的や意図に応じて説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定した論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。【主体的に学習に取り組む姿勢】●反論を想定し、説得力を		○	○	16
3学期	【第１部】表現を培う。５　メディアを駆使する　レッスン２　電話を使いこなす 【知識及び技能】初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】相手	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識・技能】話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。【思考・判断・表現】●「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、電話におけるマナーを意識したやりとりを工夫したりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を	○	○	○	2
	【第１部】表現を培う。５　メディアを駆使する　レッスン６　メディアと情報【知識及び技能】情報が編集されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解す	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識・技能】様々なメディアの種類や特徴、メディアリテラシーをもとにした情報との付き合い方について理解を深めている。【思考・判断・表現】●「書くこと」において、メディアとの付き合い方を題材に設定して、自分や集団の意見をまとめている。【主体的に学習に取り組む姿勢】●様々なメディアの特徴とそれから得られる情報について興味をもち、意欲的に学				2 合計 70